

平成28年度看護師等実習受入調査の概要

配付数	回収数	回答率(%)
341	185	54

1 病院概要について

(1)病院内の看護要員の教育を専門に担当する部門の有無について	有り	82
	無し	100
(2)在籍者の実習指導者講習会受講状況について	前年度までの受講修了者	2,062
	今年度受講者	245
	次年度受講予定者	256
(3)在籍者の看護教員養成講習会受講状況について	前年度までの受講修了者	278
	今年度受講者	12
	次年度受講予定者	20

2 実習受入について

(1)全ての病院対象

実習受入の有無等について

・受入有り	105	病院
・受入ないが、今後可能	10	病院
・受入不可	58	病院
・未記入	12	病院
		病棟数 618

(延べ)

種別	受入学校数				合計	
	県内校	県内人	県外校	県外人	校	人
看護大学	80	4,956	30	1,473	110	6,429
(うち助産師課程)	5	17	3	15	8	32
看護短期大学	25	1,306	0	0	25	1,306
3年課程養成所	209	11,512	9	475	218	11,987
2年課程養成所	20	736	3	84	23	820
2年課程(通信制)	0	0	18	294	18	294
助産師養成所	7	39	0	0	7	39
准看護師養成所	12	481	27	0	39	481
卒後研修機関	25	93	27	53	52	146
合計	383	19,140	117	2,394	500	21,534

【「受入有り」病院回答】

追加受入の可否について

・追加受入可能病棟数	37 病棟	{ 15 病院が回答 }
・1実習につき追加で受入可能な平均学生数	平均 4.6 人	{ 17 病院が回答 } (延べ)

・追加受入可能時期(複数選択可)

時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
可能と答えた病院数	2	8	6	5	4	10	10	9	7	8	9	4	82

実習受入や調整に関する課題・困っていること(複数回答)

・患者選定に苦慮している。(同意が得られない、在院日数の短縮化など)	62
・教員が授業等で来られないため、学生のフォローや指導に苦慮している。	36
・実習指導者の育成に苦慮している。(実習指導者講習会に応募しても受講できないなど)	30
・新人看護職員の育成と実習の両立に苦慮している。	40
・その他	32

【「受入ないが、今後可能」と答えた病院回答】

今後の受入可否等について

・受入可能病棟数	31 病棟	{ 11 病院が回答 }
・1実習につき追加で受入可能な平均学生数	平均 6.0 人	{ 11 病院が回答 }

【「受入不可」と答えた病院回答】

受入不可の理由

・学習環境として整備できていない。(必要物品、実習生受入れのためのスペース等)	48
・受持ち可能な患者がいない。(同意が得られない、在院日数の関係等)	9
・指導体制が整えられていない。(実習指導者講習会修了者がいない)	47
・看護体制が十分でない。(看護職員数が少ない)	27
・新人看護職員の育成と実習の両立が難しい。	22
・その他	6

(2)産科ありの病院対象

産科病棟の実習受入の有無について

受入有り	33	病院
受入ないが、今後可能	1	病院
受入なし	36	病院

種別	校	人
助産師課程	県内	22
	県外	4
看護師課程	県内	98
	県外	22

【「受入有り」病院回答】

追加受入の可否について

・1実習につき追加で受入可能な平均学生数 平均 人 [5 病院が回答]

・追加受入可能時期(複数選択可)

時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
可能と答えた病院数	1	1	1	2	2	1	1	2	2	0	0	1	14

実習受入や調整に関する課題・困っていること(複数回答)

・妊産婦の選定に苦慮している。(同意が得られない、在院日数の短縮化など)	<input type="text" value="17"/>
・教員が授業等で来られないため、学生のフォローや指導に苦慮している。	<input type="text" value="10"/>
・実習指導者の育成に苦慮している。(実習指導者講習会に応募しても受講できないなど)	<input type="text" value="6"/>
・新人看護職員の育成と実習の両立に苦慮している。	<input type="text" value="18"/>
・夜間の病院指導者の負担が大きい。	<input type="text" value="7"/>
・その他	<input type="text" value="11"/>

【「受入ないが、今後可能」と答えた病院回答】

今後の受入可否等について

・1実習につき受入可能な平均学生数 平均 人 [1 病院が回答]

【「受入不可」と答えた病院回答】

受入不可の理由(受入不可と答えた病院回答)

・学習環境として整備できていない。(必要物品、実習生受入れのためのスペース等)	<input type="text" value="4"/>
・受持ち可能な患者がいない。(同意が得られない、在院日数の関係等)	<input type="text" value="2"/>
・指導体制が整えられていない。(実習指導者講習会修了者がいない)	<input type="text" value="5"/>
・看護体制が十分でない。(看護職員数が少ない)	<input type="text" value="2"/>
・新人看護職員の育成と実習の両立が難しい。	<input type="text" value="3"/>
・その他	<input type="text" value="6"/>

(3)小児科ありの病院対象

今年度の小児科病棟の実習受入の有無について

受入有り	22	病院
受入ないが、今後可能	2	病院
受入なし	48	病院

	校	人
県内	66	1,805
県外	22	419

実習生受け持ちの状況

・こども1名に対する学生の人数 人 [3 病院が回答]

【「受入有り」病院回答】

追加受入の可否について

・1実習につき追加で受入可能な平均学生数 平均 人 [3 病院が回答]

・追加受入可能時期(複数選択可)

時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
可能と答えた病院数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	4

実習受入や調整に関する課題・困っていること(複数回答)

・患者選定に苦慮している。(同意が得られない、在院日数の短縮化など)	<input type="text" value="16"/>
・教員が授業等で来られないため、学生のフォローや指導に苦慮している。	<input type="text" value="10"/>
・実習指導者の育成に苦慮している。(実習指導者講習会に応募しても受講できないなど)	<input type="text" value="6"/>
・新人看護職員の育成と実習の両立に苦慮している。	<input type="text" value="12"/>
・その他	<input type="text" value="8"/>

【「受入ないが、今後可能」と答えた病院回答】

今後の受入可否について

・1実習につき受入可能な平均学生数 平均 人 [1 病院が回答]

【「受入不可」と答えた病院回答】

受入不可の理由(受入不可と答えた病院回答)

・学習環境として整備できていない。(必要物品、実習生受入れのためのスペース等)	<input type="text" value="8"/>
・受持ち可能な患者がいない。(同意が得られない、在院日数の関係等)	<input type="text" value="11"/>
・指導体制が整えられていない。(実習指導者講習会修了者がいない)	<input type="text" value="5"/>
・看護体制が十分でない。(看護職員数が少ない)	<input type="text" value="2"/>
・新人看護職員の育成と実習の両立が難しい。	<input type="text" value="3"/>
・その他	<input type="text" value="7"/>

(4)全ての病院対象(統分分野における夜間実習)

今年度の統分分野(夜間実習)受入の有無について

- 受入有り
- 受入無いが、今後可能
- 受入無くて、今後も不可
- 未記入

49	病院
9	病院
114	病院
13	病院

	校	人
県内	89	1,535
県外	12	158

【「受入有り」病院回答】

追加受入の可否について

- 追加受入可能病棟数 合計 病棟 { 5 病院が回答 }
- 1実習につき追加で受入可能な平均学生数 平均 人 { 7 病院が回答 }
- 追加受入可能時期(複数選択可)

時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
可能と答えた病院数	0	2	1	3	2	2	2	1	1	2	0	1	17

統分分野実習受入や調整に関して課題・困っていること(複数回答)

- 患者選定に苦慮している。(同意が得られない、在院日数の短縮化など)
- 教員が授業等で来れないため、学生のフォローや指導に苦慮している。
- 実習指導者の育成に苦慮している。(実習指導者講習会に応募しても受講できないなど)
- 新人看護職員の育成と実習の両立に苦慮している。
- 夜間の病院指導者の負担が大きい。
- 夜間体制で手薄のため患者の安全確保と効果的な実習の両立が難しい。
- その他

【「受入無いが、今後可能」と答えた病院回答】

今後の受入可否について

- 受入可能病棟数 病棟 { 9 病院が回答 }
- 1実習につき受入可能な平均学生数 平均 人 { 9 病院が回答 }

【「受入不可」と答えた病院回答】

受入不可の理由

- 夜間実習受入れのための学習環境として整備できていない。(必要物品、実習生受入れのためのスペース等)
- 受持ち可能な患者がいない。(同意が得られない、在院日数の関係等)
- 指導体制が整えられていない。(実習指導者講習会修了者がいない)
- 看護体制が十分でない。(看護職員数が少ない)
- 新人看護職員の育成と実習の両立が難しい。
- その他

(5)全ての病院対象

患者や家族から、実習の同意確認を取る際の取り決めの有無について

取り決め有り	<input type="text" value="97"/>
取り決め無し	<input type="text" value="69"/>
検討中	<input type="text" value="17"/>